

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和5年7月21日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：吉野長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから7月21日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○吉野総務課長 報道官の吉野です。

原子力規制委員会の広報日程について御説明いたします。

本日は25日以降の予定について御説明いたします。

7月25日火曜日には、第8回発電用原子炉施設におけるデジタル安全保護系の共通要因故障等に関する検討チームが予定されております。

これは前回の委員会でも議題に上がっておりました、ATENA(原子力エネルギー協議会)の対応について、川内それから柏崎刈羽の原子力発電所について、どのようにデジタル安全保護系に関する確認を行っているのかということの対応状況の御報告をいただくということを予定されております。ATENAからは富岡理事が御出席されて御説明されると伺っております。また、対応委員は杉山委員となっております。

翌日26日水曜日ですが、第15回原子力事業者防災訓練報告会が予定されております。対応委員は田中委員と杉山委員です。

これは、定例で防災基本計画に基づいて、1年間の訓練、昨年の訓練の状況を報告し、また、評価を行うというものでございます。

昨年は、泊や東海などにおいて全面緊急事態まで至らない形、大体今まで原子力災害の訓練というのは、全面緊急事態に至るということを想定して短時間で非常に事故進展の速いものに対する対応の訓練を行うことが多かったのですが、現実にはそんな早い進展で事故というものはないので、もう少し現実に近いシナリオで訓練を実施したほうが良いという御指摘がございまして、泊と東海で全面緊急事態まで至らない形での訓練を試行的に行ったというものでございます。非常によかったということで、本年度は、それを本格運用していくといったようなことが話し合われます。

あと、九州電力の玄海発電所では、支援組織としての自衛隊との連携訓練が行われたということで、これについても事例の御報告がございまして。

また、核燃料施設については、六ヶ所や東海のほうで、複数の施設で同時発災した場合の対応について訓練が行われたということが、御報告があると聞いております。

7月27日木曜日は、第60回技術情報検討会が行われます。これも定例のものですが、対

応委員は田中委員、杉山委員、伴委員、そして、石渡委員となっております。

安全研究及び学術的な調査研究から得られる最新知見、また、国内外の原子力施設の事故・トラブル情報などについてスクリーニングの状況や、現在行われている調査の状況などが報告されて、スクリーニングについての話し合いなどが予定されております。

同日ですが、第1171回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合が予定されております。

議題は2つございまして、九州電力玄海原子力発電所3号機の燃料体が、材料とか形状にマイナーチェンジがあるということで、その設工認の審査が上がっておりまして、その2回目の審査が行われます。これが議題1でございます。

また、九州電力の玄海、そして、川内の発電所における火災防護について、系統分離が必要だということが関電の施設との関係で出ていた件があったと思うのですが、これについての玄海、川内の設計工事の計画、それから、保安規定の変更認可の申請についての審査が行われます。

7月28日には第1172回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合が予定されております。これは特重に関するものでございますので非公開となっております。

議題は、中国電力株式会社島根原子力発電所2号炉の特定重大事故等対処施設に係る敷地の地質・地質構造についてとなっております。

これは、前回、審査の進捗の検討の状況を委員会に報告した会があったと思いますが、そこでシームが見つかったという話があったかと思えます。そのシームの評価について、どのようにやっていくのかということについて電力側から御説明をいただくということを予定されております。

1173回原子力発電所の新規制基準適合性に係る審査会合も、同日、こちらのほうは公開で行われます。対応委員は石渡委員です。

議題は、川内の標準応答スペクトルの規制への取り入れに伴う地震動評価についてでございます。

昨日7月12日に行った事業者のヒアリングの資料が公開されておりますが、基準地震動が変更になる可能性があるということで上がってきておりまして、その審査が行われる予定となっております。

同日ですけれども、3時から第159回放射線審議会の総会が行われる予定となっております。対応は、佐藤核物質・放射線総括審議官です。

議題は、そこに掲げております5つでございます。

会長を含め、今回、委員の改選があったということで、最初に会長の選任と会長代理の指名がございます。その後、継続の議題となっております屋内ラドンに関する件、それから、実効線量係数などのICRP（国際放射線防護委員会）2007年勧告について、どのように取り入れていくかということについての議論がなされる予定となっております。また、放射線防護に係る国際動向について、定例の状況の御報告が行われる予定です。

そのほか、本日は要人の面談の予定が4件入っております。

7月24日には、原子力発電関係道県議会議長協議会の来訪が予定されております。島根県議会議長ほか7名ということで御来訪いただきまして、対応は片山長官がなさいます。15分の予定ですが、取材は頭撮りとなっております。

富山県氷見市長の来訪、7月25日、翌日に予定されております。対応は金子次長です。

同日に、福岡都市圏広域行政推進協議会副会長の来訪が予定されてございます。これも対応は金子次長です。

鹿児島県知事の来訪が26日水曜日に予定されております。これは片山長官が対応いたします。この件については、取材はフルオープンという予定をしております。

案件は以上です。何か御質問等はございますでしょうか。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問をお願いいたします。質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—